

応用自然科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

応用自然科学専攻では、下記のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

《知識・理解》

- 基礎理学、応用理学及び理工学分野の連携に積極的に取り組み、修得した知識を基盤とし地域・国内・海外へ発信しうる技術に活用・応用することの必要性・重要性を理解し、幅広い視点から研究成果を社会実装につなげるための専門知識を身に付ける準備ができている。

《思考・判断/関心・意欲》

- 自身の専攻分野で得た課題に対し、問題の本質を把握・分析し、自身の専門分野の他の研究分野を取り入れながら創造的な判断を行うことができる。
- 自身の専攻分野で得た知見と、他分野に係る知見を総合的に連携して得た成果を活用し、外部へ発信する好奇心を持って課題解決に取り組む意欲を有している。

《技能・表現》

- 修得した自らの専門領域についての内容を的確に国内外の学会並びに国際学術誌で発表し、自身の言動に責任を持って議論にのぞむことができる。

《態度》

- 明瞭な課題意識のもとに、研究能力を修得し、学術研究を進展させるだけでなく、研究開発型人材又は理工系高度専門職業人として、社会に対して負うべき責任を理解し健全な倫理観・自然観の下で研究開発を通じた社会実装につながる研究成果を創造する確固たる意志を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口述試験	◎	◎	◎	◎	◎
学業成績証明書	○				
研究計画書			○	○	

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口述試験	◎	◎	◎	◎	◎
学業成績証明書等	○				
修士の学位論文	○	○			
研究計画書			○	○	

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目）なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。